

新デザインの「御城印^{ごじょういん}」を販売開始
～小川城の「御城印」は初制作～

本市では、2種類の御城印を2月3日(土)から新たに販売します。

「小川城」の御城印の販売は今回が初となります。「石脇城」の御城印は好評につき、新デザインで販売を開始します。

各御城印の文字は、焼津高校書道部の皆さんに毛筆で書いていただいたものです。

焼津市内には、戦国時代の城跡が5つあります。既に販売中の「花沢城」、「石脇城」に続く第3弾として、この度「小川城」を発売します。今後も「御城印」を販売することで、お城の認知度を上げ、より一層の交流人口の増加を図ります。

■新デザインの「御城印」概要

種類 小川城 (初販売)
石脇城 (新デザイン)

販売開始日

2月3日(土) 午前9時～

販売場所

- ・焼津市歴史民俗資料館 (三ヶ名 1550)
- ・焼津市観光協会 (栄町 1-2-14)

販売価格 各 300 円 (税込)

特徴

- ・きぬもみ和紙を使用
- ・文字は焼津高校書道部による書き下ろし



■焼津高校書道部による「お披露目会」

焼津高校の生徒が撮影やインタビューに応じます。

日時 2月1日(木) 午後4時～

会場 焼津市歴史民俗資料館 (三ヶ名 1550)



過去のお披露目会の様子

問合せ先

焼津市生きがい・交流部 文化振興課 歴史民俗資料館担当 藁科
TEL054-629-6847 FAX054-629-6848

資料 戦国時代の城跡「小川城」・「石脇城」

■小川城(跡)

小川城は、「山西の有徳人」と呼ばれた長谷川正宣の居城として知られ、城跡からは陶磁器や茶道具などが出土しています。長谷川氏は「鬼平犯科帳」の主人公、長谷川平蔵宣以の先祖としても知られています。

現在は石碑と説明看板があるのみで、遺構を見ることはできません(発掘調査で見つかった遺物の一部は焼津市歴史民俗資料館に展示されています)。

所在地・アクセス

焼津市西小川

(駐車場はありません)



市ホームページ

【石碑と説明看板】



■石脇城(跡)

石脇城は、戦国大名の先駆けといわれ、北条早雲の名で知られる伊勢新九郎盛時が在城していたと伝わる山城です。

現在も、城跡には土塁などが残ります。

所在地・アクセス

焼津市石脇下

(駐車場はありません)



市ホームページ

【南東側より】



【焼津市内の5つの城跡】

- ・花沢城跡
- ・石脇城跡
- ・小川城跡
- ・方ノ上城跡
- ・当目砦跡

問合先

歴史民俗資料館

所在地：焼津市三ヶ名 1550

(焼津市文化センター内)

TEL：054-629-6847

FAX：054-629-6848